

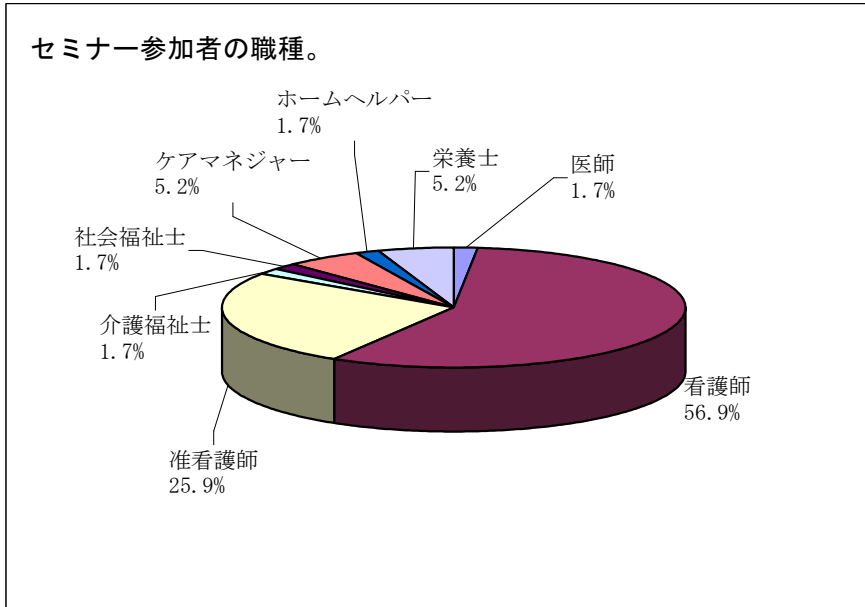
山口・北浦地区PDNセミナー(平成18年9月)

アンケート集計結果

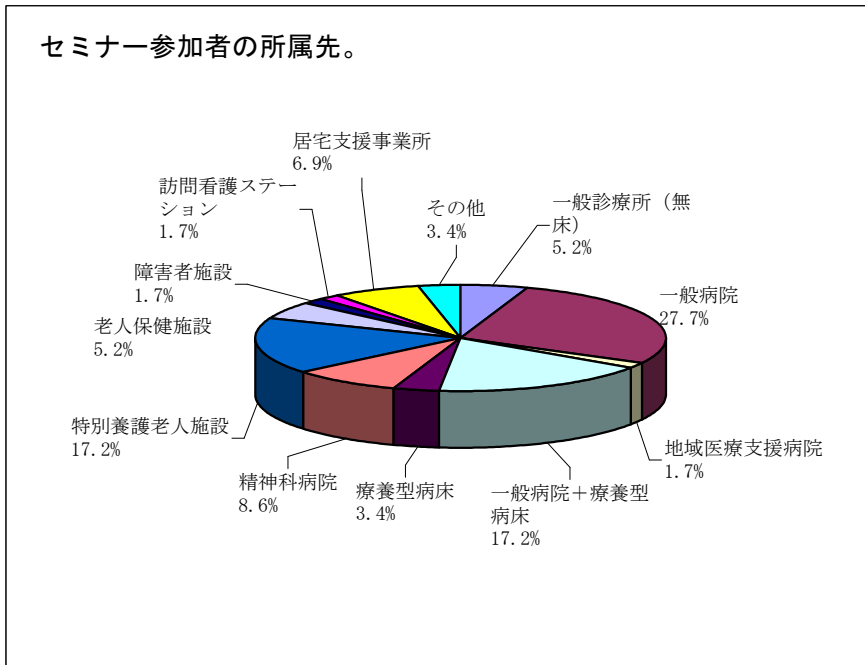
回収サンプル数:58

I. セミナー参加者のプロフィール。

□ 職種



□ 所属先



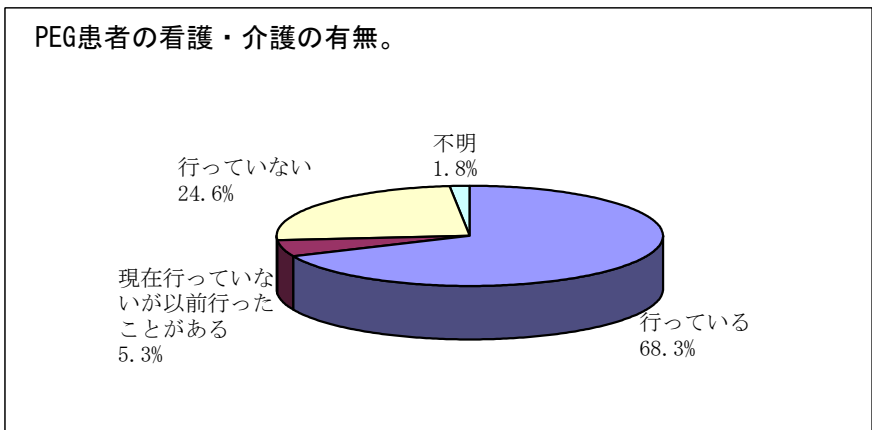
□ 所属先の所在地

N 100%=	山口市	萩市	長門市	美祢市	宇部市	岩国市
58	12 20.7	16 27.6	14 24.1	1 1.7	1 1.7	2 3.4

(つづき)

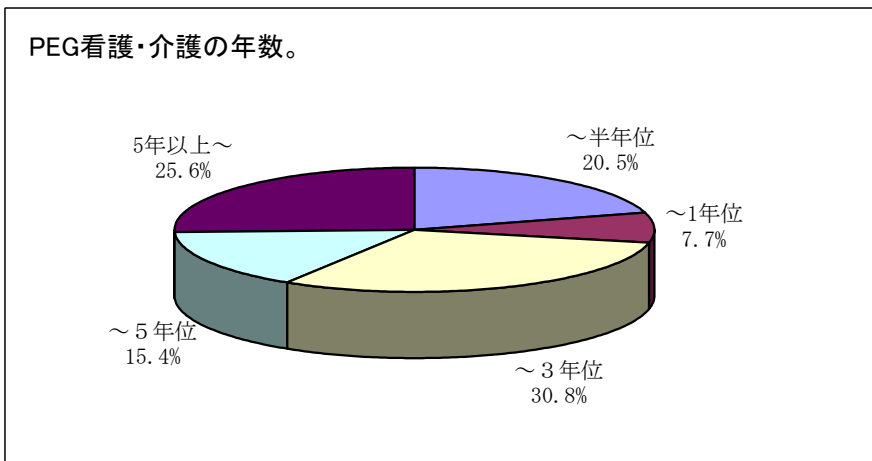
N 100%=	阿武郡	不明
58	3 5.2	9 15.5

□ PEG患者の看護・介護の有無。(医師以外の参加者について)



N=57

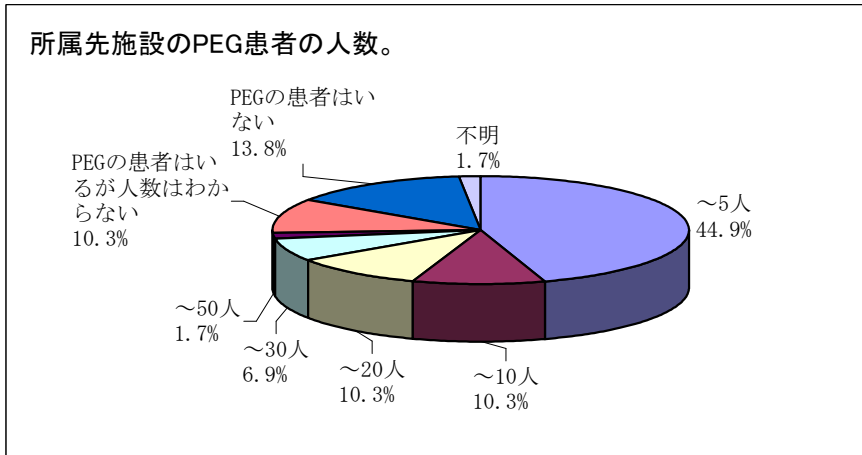
□ PEG看護・介護の年数。(看護・介護を行っている人について)



平均：3.17年 N=39

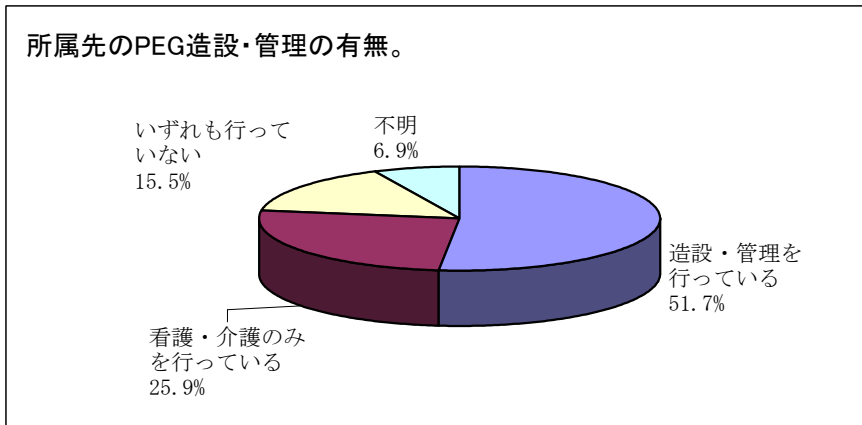
II. 所属先施設のPEGの現状。

□ 所属先施設のPEG患者の人数。



平均：7.91人 N=58

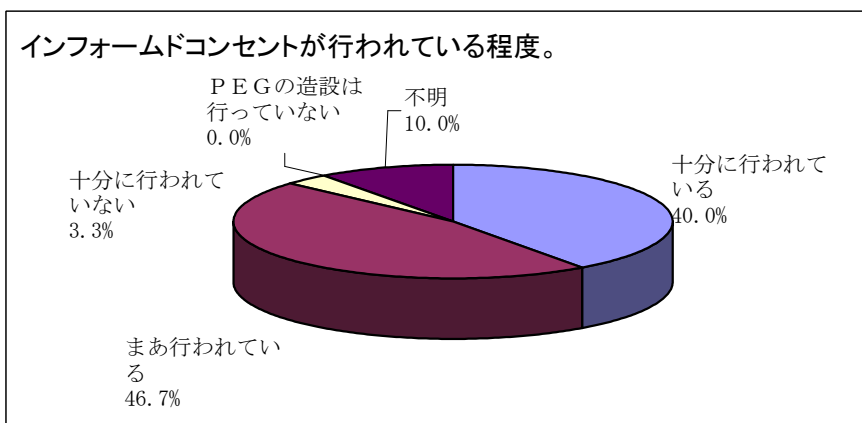
□ 所属先施設のPEG造設・管理の有無。



N=58

□ PEG造設時のインフォームドコンセントの程度。

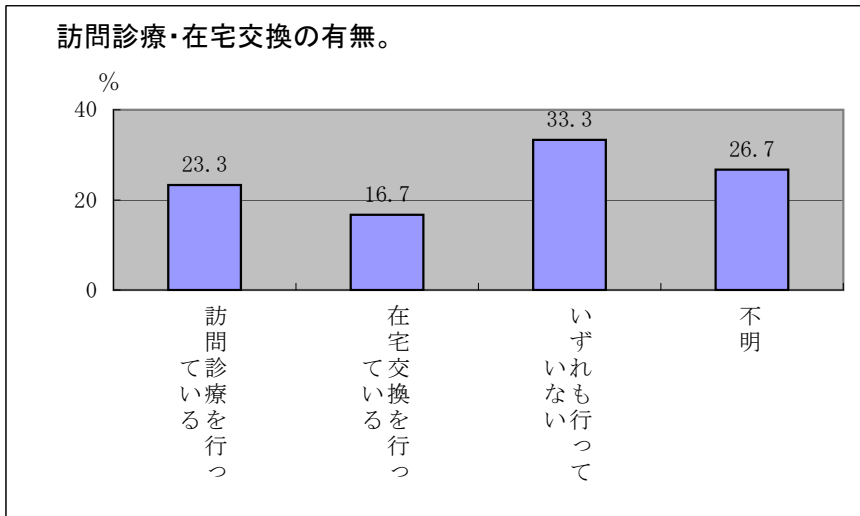
(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



N=30

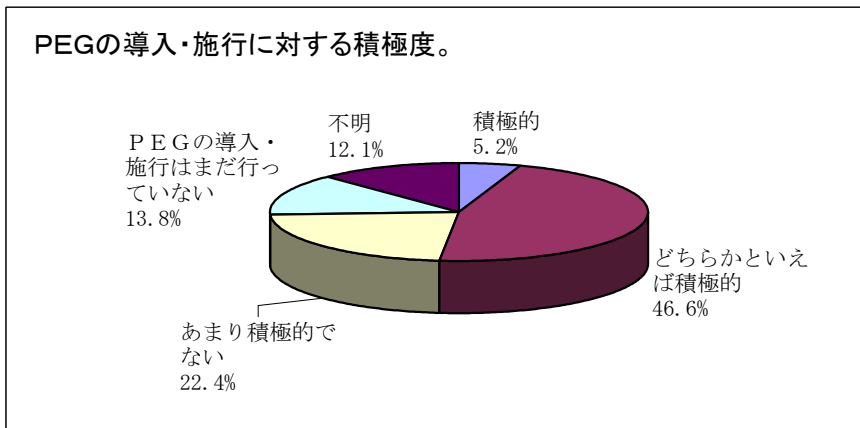
□ 所属先施設のPEGの訪問診療・在宅交換の有無。

(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



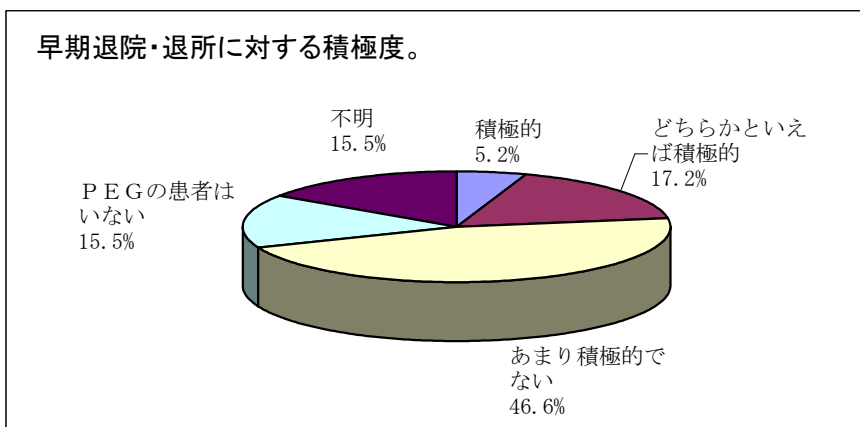
N=30

□ 所属先施設のPEG導入・施行への積極度。



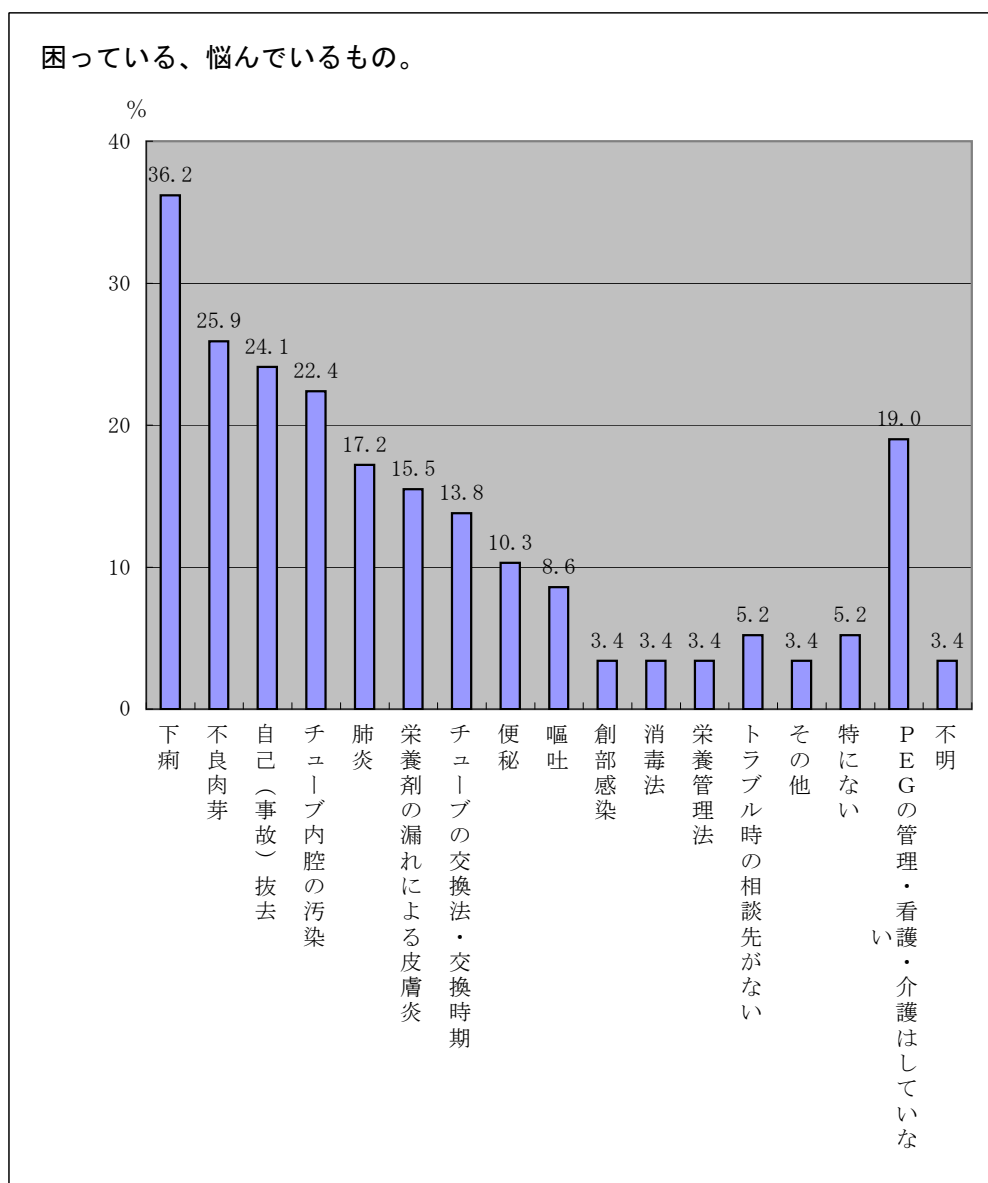
N=58

□ 所属先施設の早期退院・退所への積極度。



N=58

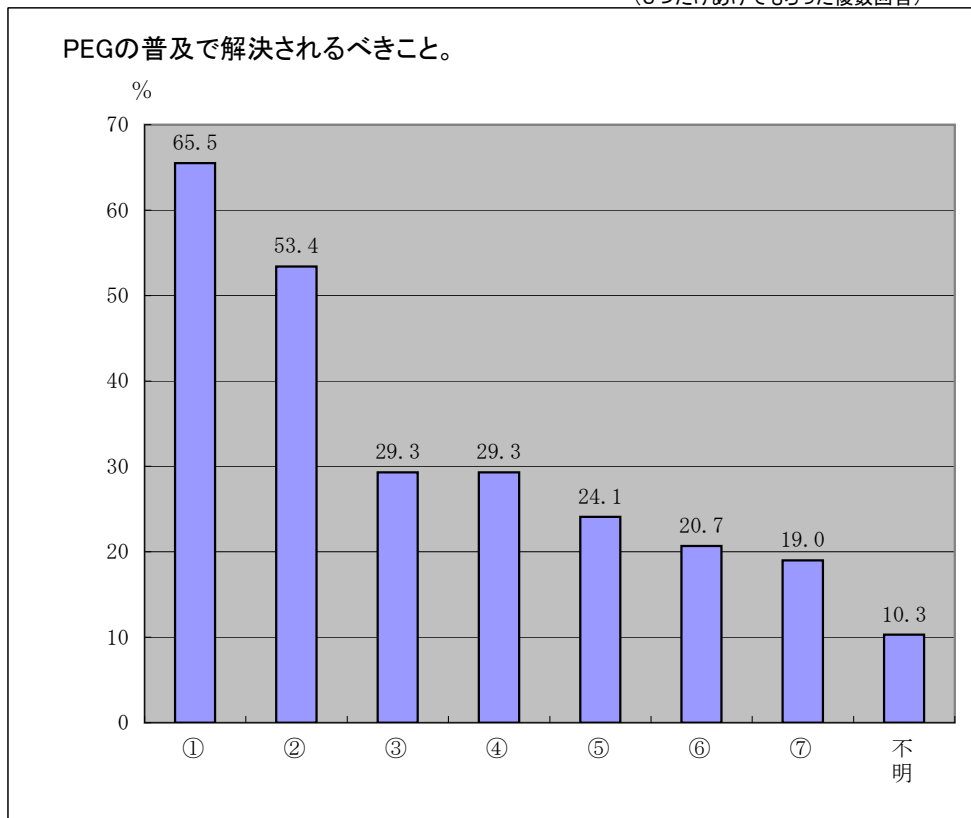
Ⅲ. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの。(複数回答)



N=58

IV. PEGをもっと普及させていくために、解決されなければならないと思うこと。

(3つだけあげてもらった複数回答)

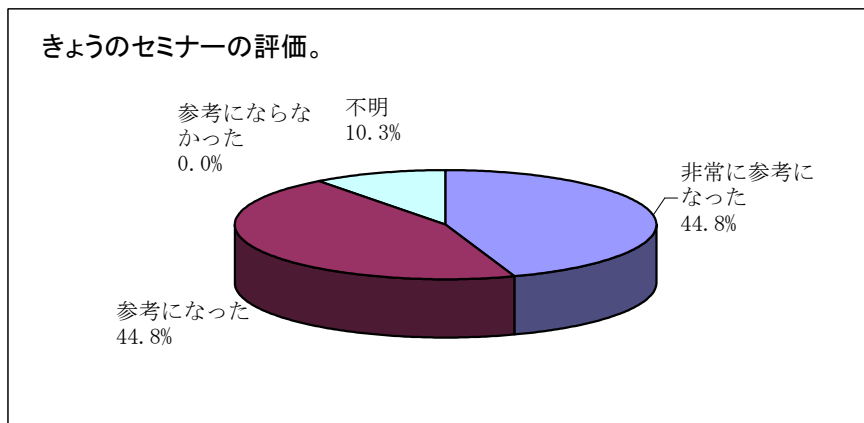


N=58

- | | |
|---|----------|
| ① PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) | 65.5% |
| ② PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 53.4% |
| ③ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実。 | 29.3% |
| ④ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 29.3% |
| ⑤ 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみること。 | 24.1% |
| ⑥ 専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) | 20.7% |
| ⑦ PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 19.0% |
| | 不明 10.3% |

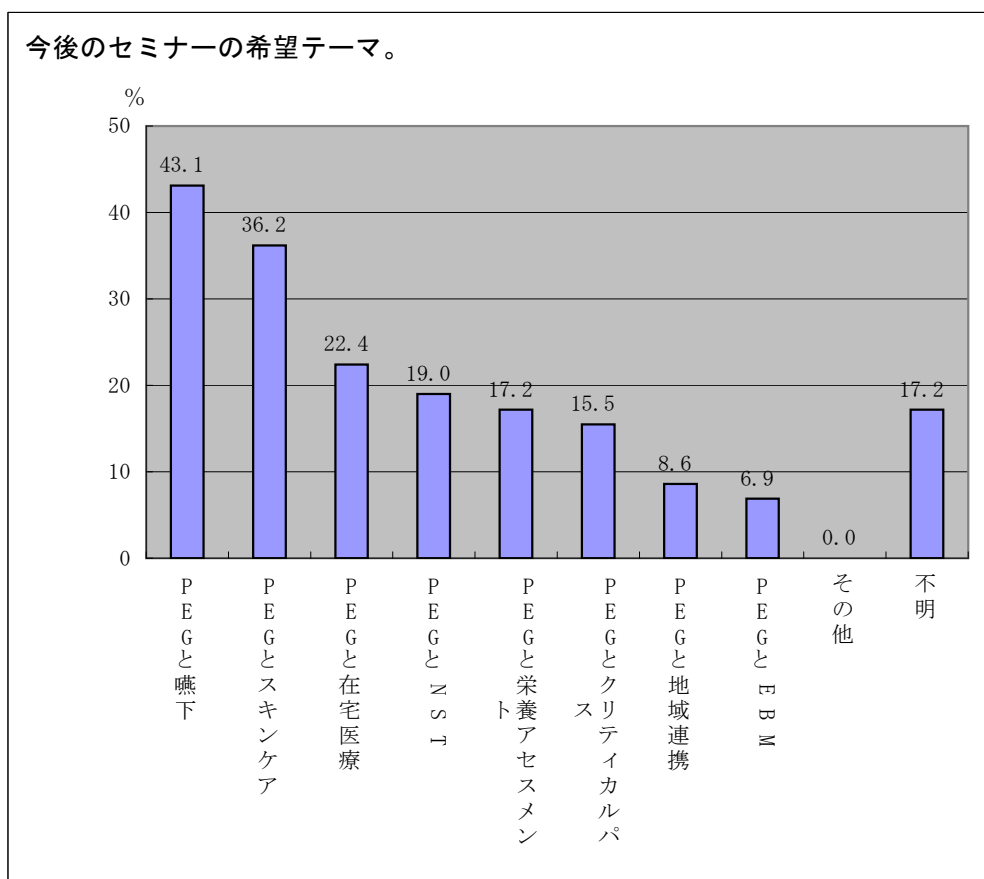
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ。

□ 今回のセミナー評価。



N=58

□ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=58

VI. 自由回答意見。

問. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください？

- とても勉強になる研修会だった。まだPEGの患者さんはいないが、将来PEGを管理するようになればと思いました。テキストも判りやすく、じっくり勉強しようと思った。(准看護師、特別養護老人施設)
- 施設のドクターはもっと勉強して理解を高めてほしいと思った。(ケアマネジャー、特別養護老人施設)
- もっと各地でセミナーを開催してほしい。(医師、一般診療所<無床>)
- デモンストレーションや薬剤注入の実際が見られるとありがたい。(看護師、特別養護老人施設)
- セミナーには初めて参加したが、先生のお話が聞け大変参考になった。岩国地区でも開催できればありがたい。(看護師、療養型病床)
- PEG専門看護師などの資格があれば、取りたい。(看護師、一般病院+療養型病床)

山口・北浦地区PDNセミナー

回収サンプル数:58サンプル

Q1.あなたの所属先は？(ひとつだけ)

1. 一般診療所(無床)5.2% 2. 一般診療所(有床)0.0% 3. 一般病院27.7% 4. 特定機能病院0.0% 5. 地域医療支援病院1.7% 6. 一般病院+療養型病床17.2% 7. 療養型病床3.4% 8. 脳神経外科病院0.0% 9. 精神科病院8.6% 10. リハビリテーション専門病院0.0% 11. 特別養護老人施設17.2% 12. 老人保健施設5.2% 13. 有料老人施設0.0% 14. 障害者施設1.7% 15. 訪問看護ステーション1.7% 16. 居宅支援事業所6.9% 17. 在宅介護支援センター0.0% 18. その他3.4% 不明0.0%

Q2.あなたは次のどれにあたりますか？(ひとつだけ)

1. 医師1.7% 2. 看護師56.9% 3. 准看護師25.9% 4. 訪問看護師・准看護師0.0% 5. 介護福祉士1.7% 6. 作業療法士0.0% 7. 理学療法士0.0% 8. 社会福祉士1.7% 9. 臨床心理士0.0% 10. 言語聴覚士0.0% 11. 介護支援専門員(ケアマネジャー)5.2% 12. 訪問介護員(ホームヘルパー)1.7% 13. 薬剤師0.0% 14. 栄養士5.2% 15. その他0.0% 不明0.0%

[医師以外の参加者に対して N=57]

Q3.あなたは、現在、PEGの患者様の看護・介護を行っていますか？(ひとつだけ)

1. 行っている68.3% 2. 現在行っていないが以前行ったことがある5.3% 3. 行っていない24.6% 不明1.8%



N=39

Q4.PEGの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？(ひとつだけ)

1. ~半年位20.5% 2. ~1年位7.7% 3. ~3年位30.8% 4. ~5年位15.4% 5. 5年以上~25.6% 不明0.0%
平均:3.17年

[医師に対して N=1 結果の数字は実数]

Q5.先生のご担当診療科目は？(いくつでも)

1. 外科0 2. 内科1 3. 内視鏡科0 4. その他1

Q6.先生がPEGの施行を行うようになったのは何年位前からですか？(ひとつだけ)

1. ~2,3年位前0 2. ~5年位前0 3. ~10年位前0 4. 10年以上前~0 5. PEGの施行は行っていない1

Q7.PEGを施行した患者様の原疾患は何でしたか？(いくつでも)

1. 脳血管障害1 2. 認知症1 3. 神経疾患1 4. 呼吸器疾患1 5. 外傷0 6. 癌0 7. その他0 8. PEGの施行は行っていない0

Q8.腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？(ひとつだけ)

1. ある0 2. ない0 3. PEGの施行は行っていない1

Q9.貴院では、一年間に、PEGの施行を何件行っていますか？(ひとつだけ)

1. ~10件以下0 2. ~20件0 3. ~30件0 4. ~40件0 5. ~50件0 6. 51件以上~0 7. PEGの施行は行っていない1 不明0

[以下、全員に対して N=58]

Q10.訪問看護・介護を含めて、御施設にはPEGの患者様は何人いらっしゃいますか？(ひとつだけ)

1. ~5人44.9% 2. ~10人10.3% 3. ~20人10.3% 4. ~30人6.9% 5. ~50人1.7% 6. ~100人0.0% 7. 101人以上~0.0% 8. PEGの患者様はいるが人数はわからない10.3% 9. PEGの患者様はいない13.8% 不明1.7%

平均:7.91人

Q11.御施設では、PEGの造設・管理を行っていますか？(ひとつだけ)

1. 造設・管理を行っている51.7% 2. 看護・介護のみを行っている25.9% 3. いずれも行っていない15.5%

不明6.9%

N=30

Q12.御施設では、PEGの造設にあたって、患者様ご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？(ひとつだけ)

1. 十分に行われている40.0% 2. まあ行われている46.7% 3. 十分に行われていない3.3% 4. PEGの造設は行っていない0.0% 不明10.0%

Q13.御施設では、PEGの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

1. 訪問診療を行っている23.3% 2. 在宅交換を行っている16.7% 3. いずれも行っていない33.3% 不明26.7%

N=58

Q14.御施設は、PEGの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

1. 積極的5.2% 2. どちらかといえば積極的46.6% 3. あまり積極的でない22.4% 4. PEGの導入・施行はまだ行っていない13.8% 不明12.1%

Q15.御施設は、PEGの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

1. 積極的5.2% 2. どちらかといえば積極的17.2% 3. あまり積極的でない46.6% 4. PEGの患者様はいない15.5% 不明15.5%

Q16.PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

1. 自己(事故)抜去24.1% 2. 肺炎17.2% 3. 嘔吐8.6% 4. 下痢36.2% 5. 便秘10.3% 6. 栄養剤の漏れによる皮膚炎15.5% 7. 不良肉芽25.9% 8. 創部感染3.4% 9. チューブの交換法・交換時期13.8% 10. チューブ内腔の汚染22.4% 11. 消毒法3.4% 12. 栄養管理法3.4% 13.トラブル時の相談先がない5.2% 14. その他3.4% 15. 特になし5.2% 16. PEGの管理・看護・介護はしていない19.0% 不明3.4%

Q17.PEGをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください？(3つだけ)

- | | |
|---|-------|
| 1 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実。 | 29.3% |
| 2 PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) | 65.5% |
| 3 PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 53.4% |
| 4 専門医や専門看護者の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) | 20.7% |
| 5 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 29.3% |
| 6 PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 19.0% |
| 7 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみること | 24.1% |

不明 10.3%

Q18.きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

1. 非常に参考になった44.8% 2. 参考になった44.8% 3. 参考にならなかった0.0% 不明10.3%

Q19.今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

1. PEGと嚥下43.1% 2. PEGと栄養アセスメント17.2% 3. PEGとスキンケア36.2% 4. PEGと在宅医療22.4% 5. PEGとNST19.0% 6. PEGとクリティカルパス15.5% 7. PEGと地域連携8.6% 8. PEGとEBM6.9% 9. その他0.0% 不明17.2%

Q20.所属先の所在地は？

県

市・郡

Q21.PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？